

## 鳥取市民アンケート調査の結果概要について

市民の日常生活における満足度を把握し、第10次総合計画の事業の進捗状況、課題、効果を検証し、今後の事業、第11次総合計画策定の基礎的資料として活用することを目的として、住民基本台帳より無作為に抽出し、下記のとおり市民アンケート調査を実施しました。

## 記

【調査対象】 15歳以上の市民

【送付数】 4,000人

【調査方法】 郵送による配布・回収

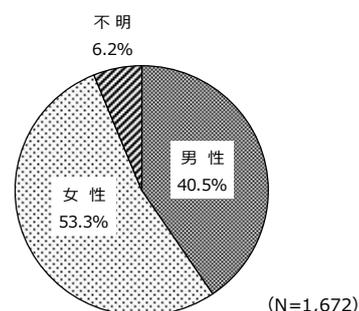
【調査期間】 令和元年8月26日（月）～令和元年9月20日（金）

【アンケート回答者数】 1,672人（回答率41.8%）

※平成26年度実施：2,050人（回答率51.3%）

## &lt;男女比&gt;

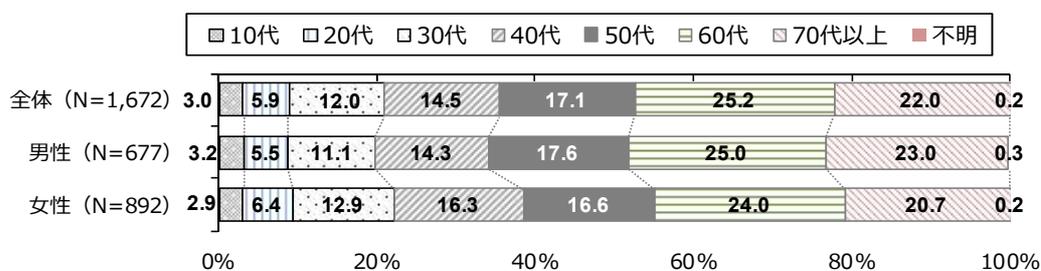
◇性別は、「男性」が40.5%、「女性」が53.3%の内訳で、女性が男性より多い。



## &lt;年齢構成&gt;

◇年代別構成をみると、全体では「60代」が25.2%と最も多く、次いで「70代以上」が22.0%、「50代」が17.1%の順となっている。

◇性別による傾向差はみられない。



**【現住地への永住希望についての設問】**

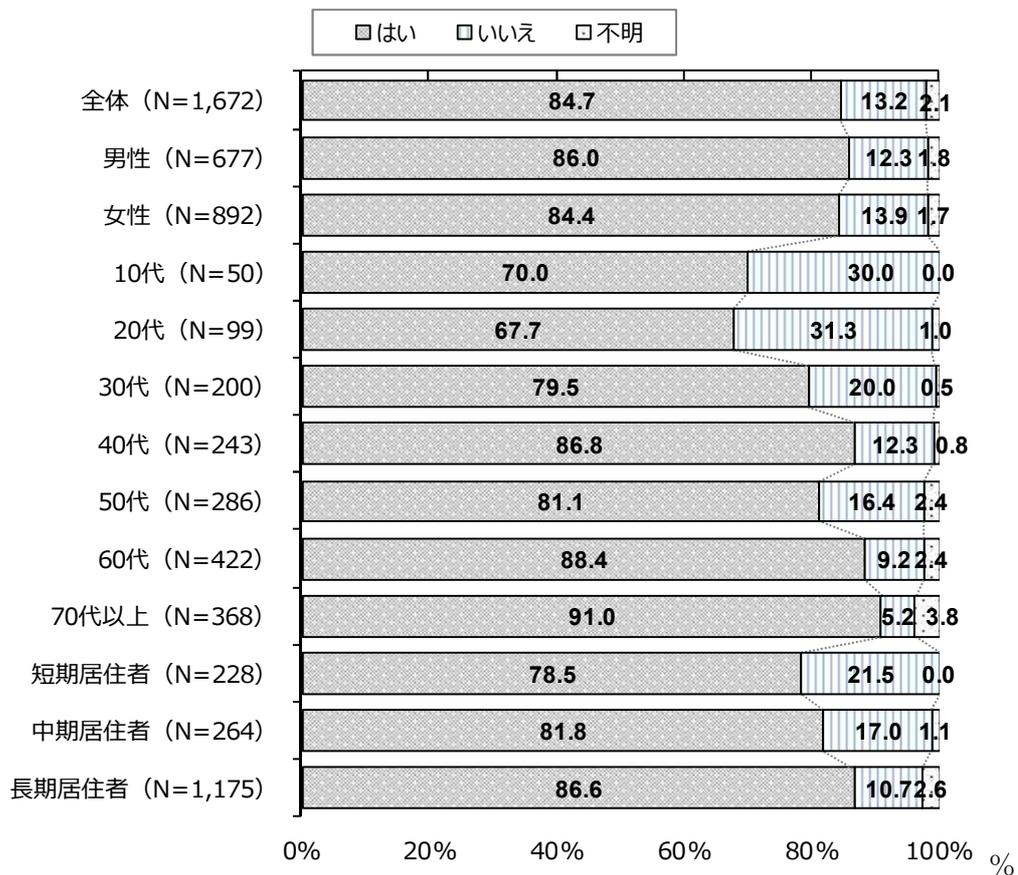
◇現住地への永住希望は、全体では「はい（住み続けたい）」が8割（84.7%）を占めており、前回より2.6%増加している。

◇性別では大きな傾向差はみられないが、年代別では、10・20代において「いいえ」が他の年代よりも多い。

◇居住年数別では、居住年数が長くなるにつれて「はい」が多くなる傾向がみられる。

◇全体としては、前回の傾向と大きな差異はない。

図表 現住地への永住希望／全体、性別・年代別・居住年数別（％）



### 【地域の住みやすさの満足度についての設問】

「満足」と「やや満足」の回答数上位5項目は、

- ①「山、川、海などの自然環境について」81.5%（日常生活環境分野）  
（前回1位：79.1%）
- ②「騒音、悪臭などの公害発生について」72.9%（日常生活環境分野）  
（前回5位：64.3%）
- ③「近所の人の親切さや人情について」70.1%（地域社会分野）  
（前回3位：67.8%）
- ④「公共下水などの生活雑排水処理について」69.8%（日常生活環境分野）  
（前回4位：66.7%）
- ⑤「ごみ分別、リサイクル活動の推進について」68.8%（日常生活環境分野）  
（前回2位：69.6%）

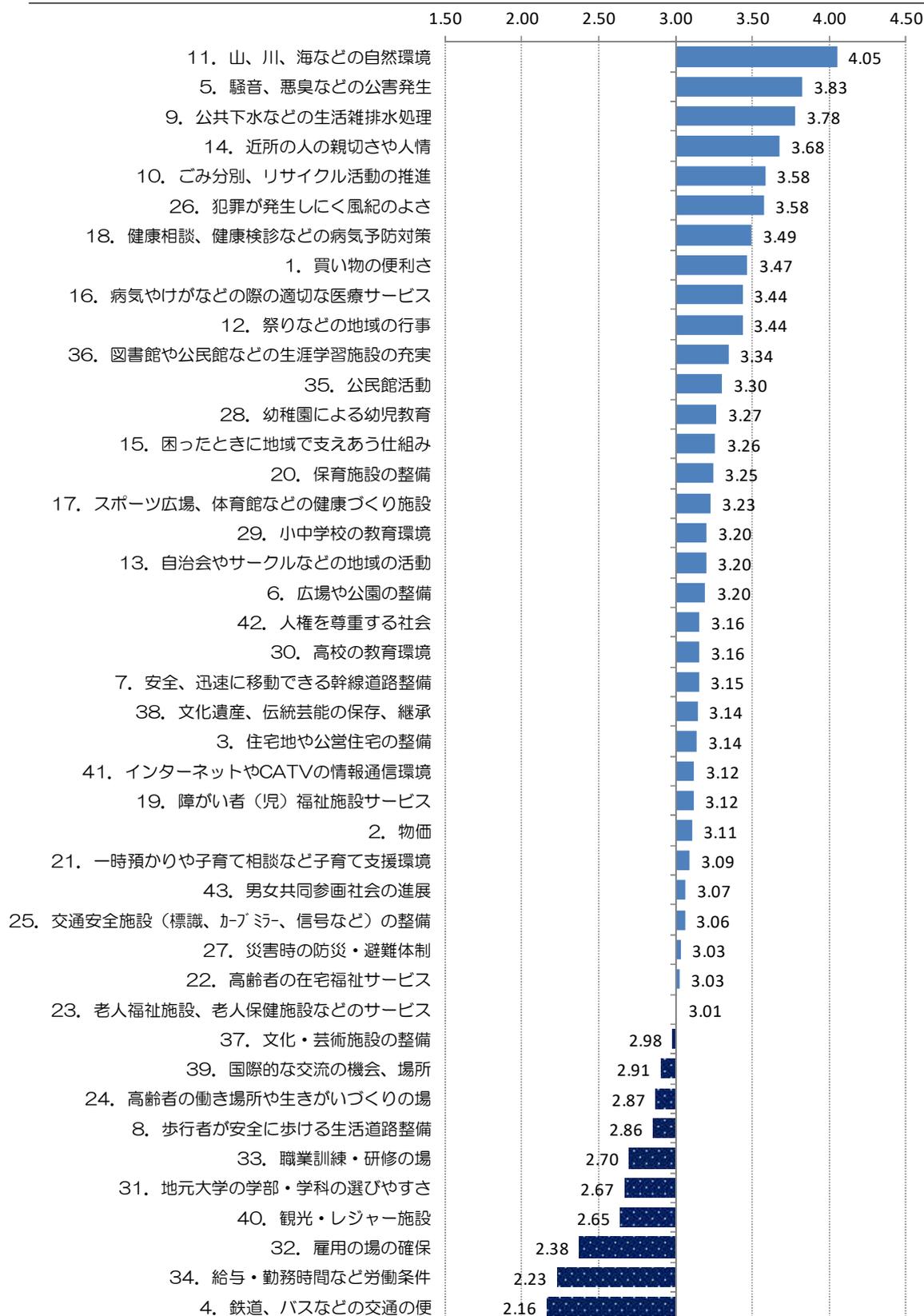
◇前回調査時と比較し、順位の入替わりはあるものの、大きな変化は見られない。

「不満」、「やや不満」の回答数上位5項目は、

- ①「鉄道、バスなどの交通の便について」69.5%（日常生活環境分野）  
（前回1位：62.6%）
- ②「給与・勤務時間など労働条件について」60.7%（労働環境分野）  
（前回3位：59.1%）
- ③「雇用の場の確保について」56.0%（労働環境分野）  
（前回2位：62.1%）
- ④「歩行者が安全に歩ける生活道路整備について」49.6%（日常生活環境分野）  
（前回5位：51.7%）
- ⑤「観光・レジャー施設について」45.9%（観光・交流分野）  
（前回6位：46.7%）

◇不満な点について、雇用の場に対する不満は減ったものの、交通に関する不満が前回から増加している。

図表 住みやすさの「満足度」の数値化／全体



この図表は、満足度の「満足」～「不満」の回答について5点から1点までの得点をつけて数値化したもの。3.0を中心に5.0に近いほうが好評価（「満足」・「やや満足」の回答が相対的に多い）、1.0に近いほうが低評価（「やや不満」・「不満」）に振れていることを示し、一目で好評価と低評価がわかるように表している。（以下、数値化した図表に同じ）

### 【住みやすさの「重要度」についての設問】※新規設問

重要度が「高い」と「やや高い」を合計した上位5項目は、

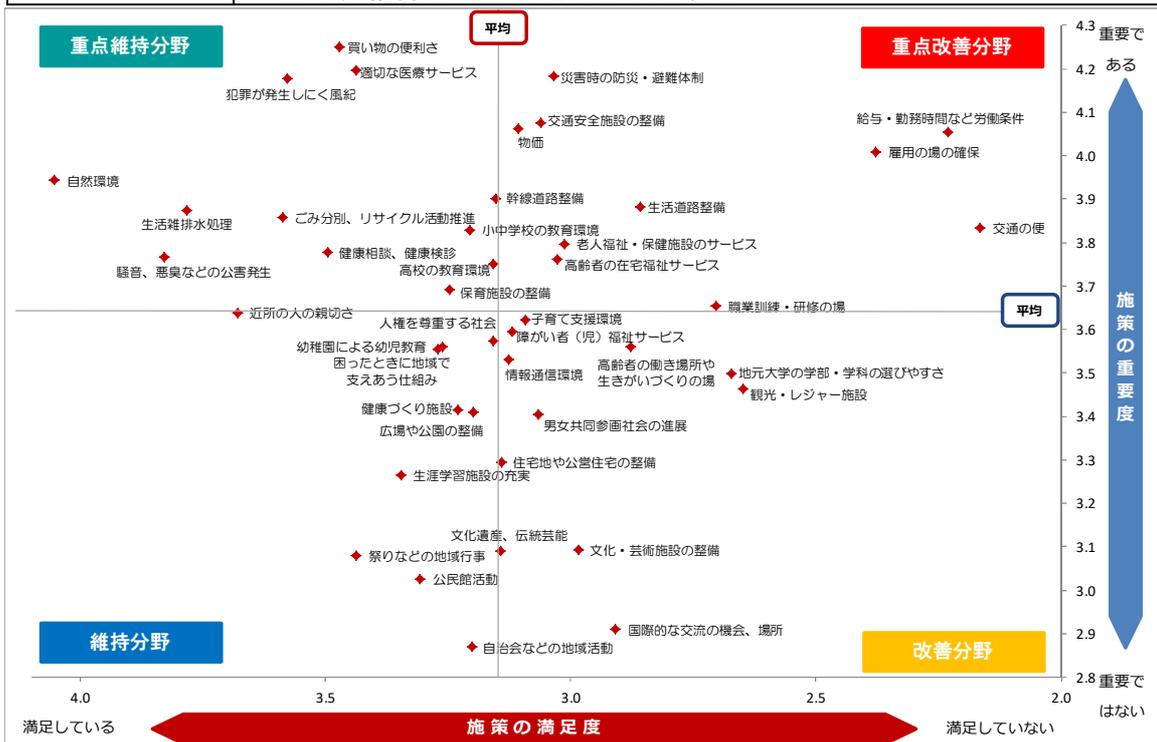
- ①「買い物の便利さについて」82.0%（日常生活環境分野）
- ②「病気やけがなどの際の適切な医療サービスについて」81.1%（健康の維持分野）
- ③「犯罪が発生しにくい風紀のよさについて」80.0%（安全性の確保分野）
- ④「物価について」79.6%（日常生活環境分野）
- ⑤「交通安全施設（標識、カーブミラー、信号など）の整備について」79.4%（安全性の確保分野）

重要度が「低い」と「やや低い」を合計した上位5項目は、

- ①「自治会やサークルなどの地域の活動について」47.0%（地域社会分野）
- ②「国際的な交流の機会、場所について」42.7%（観光・交流分野）
- ③「祭りなどの地域の行事について」41.7%（地域社会分野）
- ④「公民館活動について」40.5%（生涯学習・文化活動分野）
- ⑤「文化・芸術施設の整備について」37.8%（生涯学習・文化活動分野）

図表 4分野の見方

重点改善分野	市民のみなさんが重要と感じている項目であるが、 <b>満足度が低い</b> ため、 <b>優先的に解決していく</b> 必要がある分野
重点維持分野	市民のみなさんが重要と感じている項目であるが、 <b>満足度が高い</b> ため、これからも <b>重点的に維持していく</b> 必要がある分野
改善分野	市民のみなさんがあまり重要と感じていない項目であるが、 <b>満足度を高めていく</b> 必要がある分野
維持分野	市民のみなさんがあまり重要と感じていない項目であるが、満足度が高いため、 <b>維持していく</b> 必要がある分野



### 【市民サービスの満足度に対する設問】

「満足」と「やや満足」の合計回答数の上位3項目は、

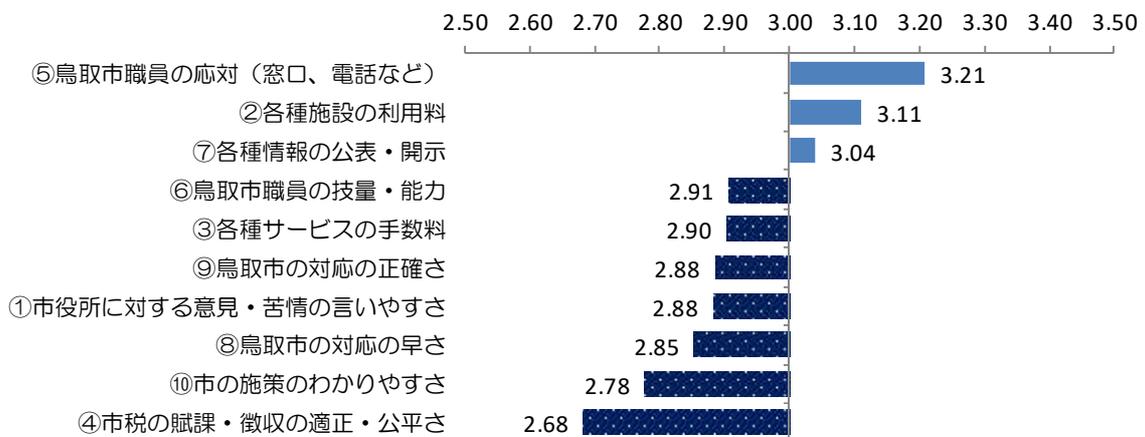
- ①「鳥取市職員の応対（窓口、電話など）」48.3%（前回1位：47.4%）
- ②「各種施設の利用料」35.2%（前回2位：35.8%）
- ③「各種情報の公表・開示」31.4%（前回4位：32.0%）

「不満」と「やや不満」の合計回答数の上位4項目は、

- ①「市税の賦課・徴収の適正・公平さ」41.0%（前回1位：44.0%）
- ②「各種サービスの手数料」、「市の施策のわかりやすさ」とともに34.4%  
（前回5位31.9%）（前回2位42.5%）
- ④「鳥取市の対応の早さ」33.5%（前回3位：36.6%）

◇前回調査時と比較し、順位の入替わりはあるものの、大きな変化は見られない。

図表 市民サービスについての「満足度」の数値化



### 【市民が重要と考える市のサービスについての設問】

◇鳥取市の市民サービスについての「重要度」について、

「高い」と「やや高い」を合計した回答数の上位3項目は、

- ①「鳥取市職員の応対（窓口、電話など）」66.9%（前回2位）
- ②「市税の賦課・徴収の適正・公平さ」66.4%（前回1位）
- ③「鳥取市の対応の正確さ」65.3%（前回3位）

◇前回調査時と比較し、順位の入替わりはあるものの、大きな変化は見られない。

**【鳥取市が目指すべき将来の都市像についての設問】**

鳥取市が目指すべき将来の都市像について、第1位から第3位までの合計が多いのは

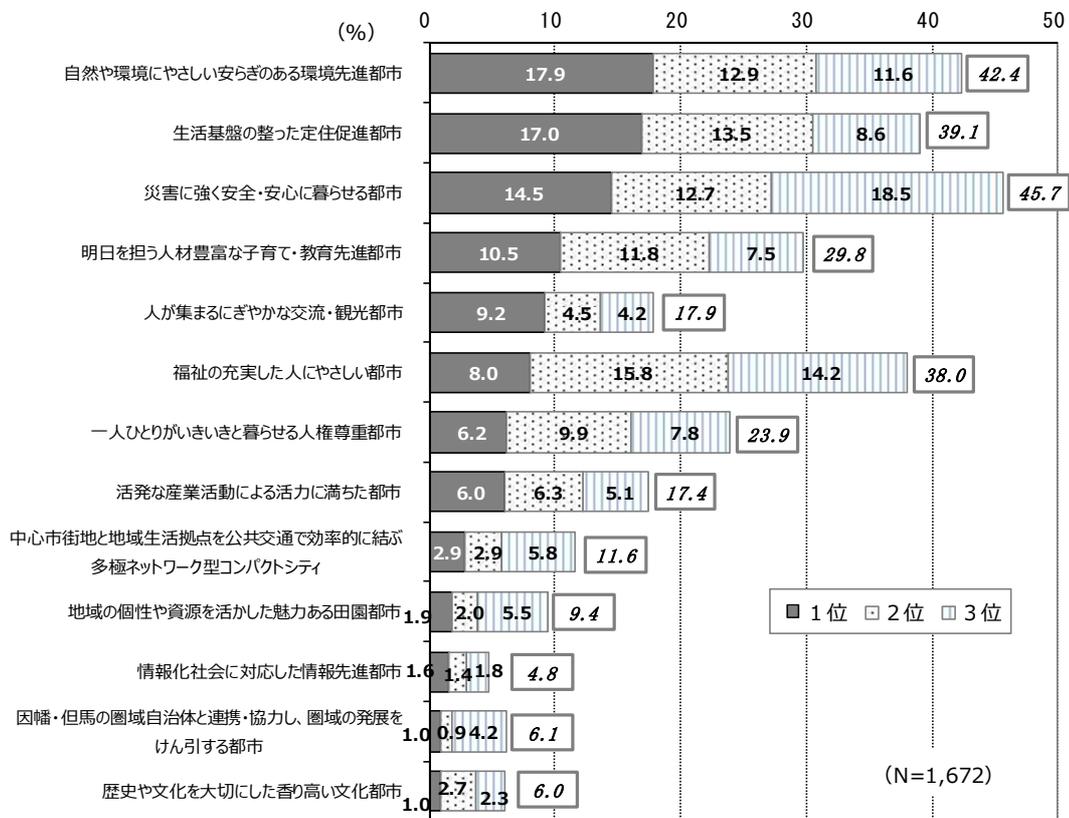
- ① 「災害に強く安全・安心に暮らせる都市」 45.7%、 (前回2位：38.3%)
- ② 「自然や環境にやさしい安らぎのある環境先進都市」 42.4% (前回4位：36.7%)
- ③ 「生活基盤の整った定住促進都市」 39.1% (前回3位：36.9%)
- [参考] ④ 福祉の充実した人にやさしい都市 38.0% (前回1位：39.0%)

◇順位別にみると、第1位の回答が多いのは

- ① 「自然や環境にやさしい安らぎのある環境先進都市」 17.9% (前回2位：15.0%)
- ② 「生活基盤の整った定住促進都市」 17.0% (前回1位：15.6%)
- ③ 「災害に強く安全・安心に暮らせる都市」 14.5% (前回3位：12.4%)

◇「安全・安心」な都市を目指すべきと考えている人が多い。

図表 鳥取市が目指すべき将来の都市像／全体 (%)



**【鳥取市が優先すべき施策についての設問】**

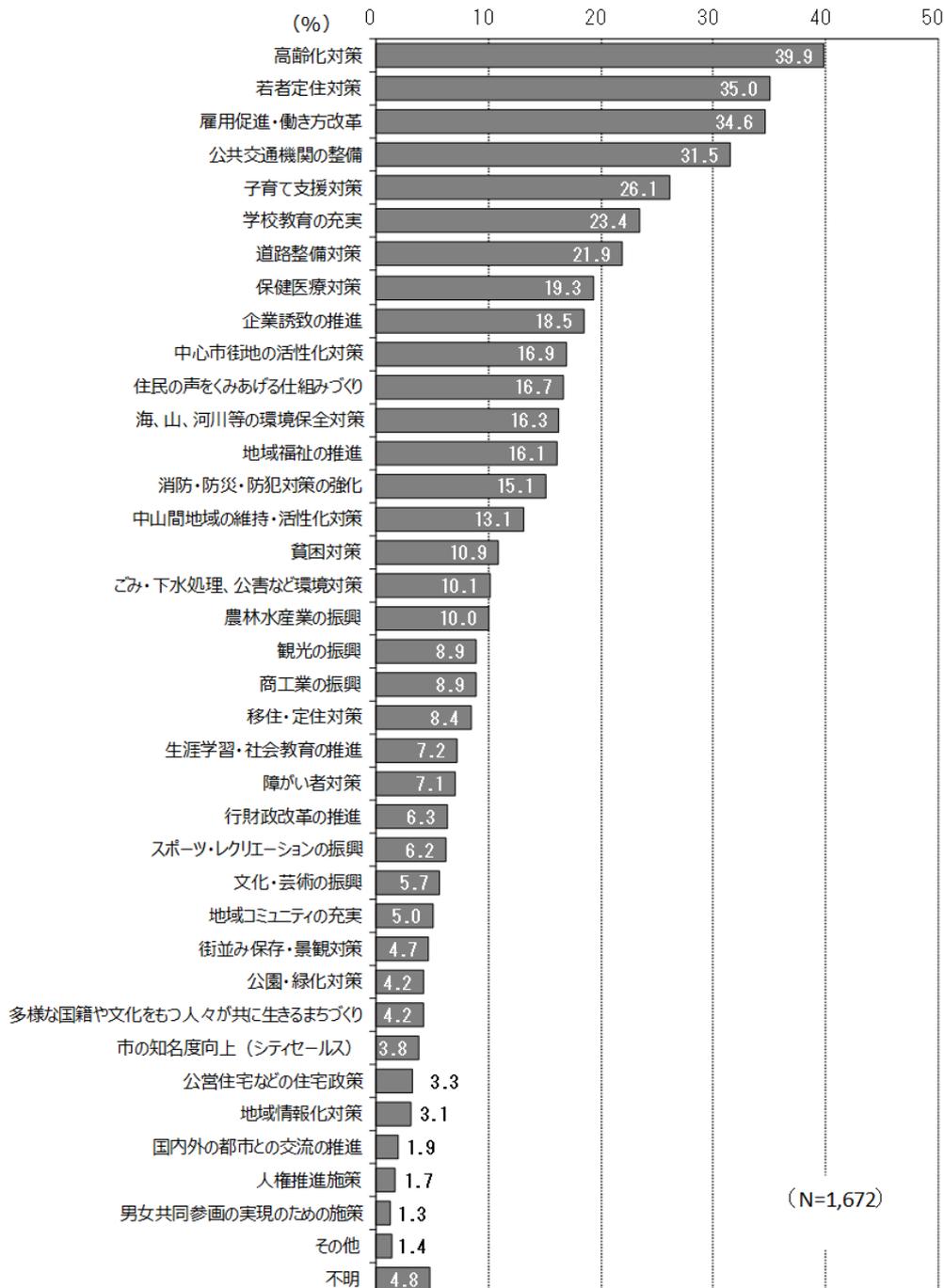
優先すべき施策についての上位5項目は、

- ① 高齢化対策 39.9% (前回2位: 37.4%)
- ② 若者定住対策 35.0% (前回3位: 33.4%)
- ③ 雇用促進・働き方改革 34.6% (前回1位: 39.9%)
- ④ 公共交通機関の整備 31.5% (前回8位: 31.5%)
- ⑤ 子育て支援対策 26.1% (前回4位: 30.2%)

◇前回調査時と比較し、順位の入替わりはあるものの大きな変化は見られないが、公共交通機関の整備に対する意識が高まっている。

◇前回同様、「高齢化」「若者定住」「雇用」への対策を優先すべきとの声が多い。

図表 優先すべき施策／全体 (%)



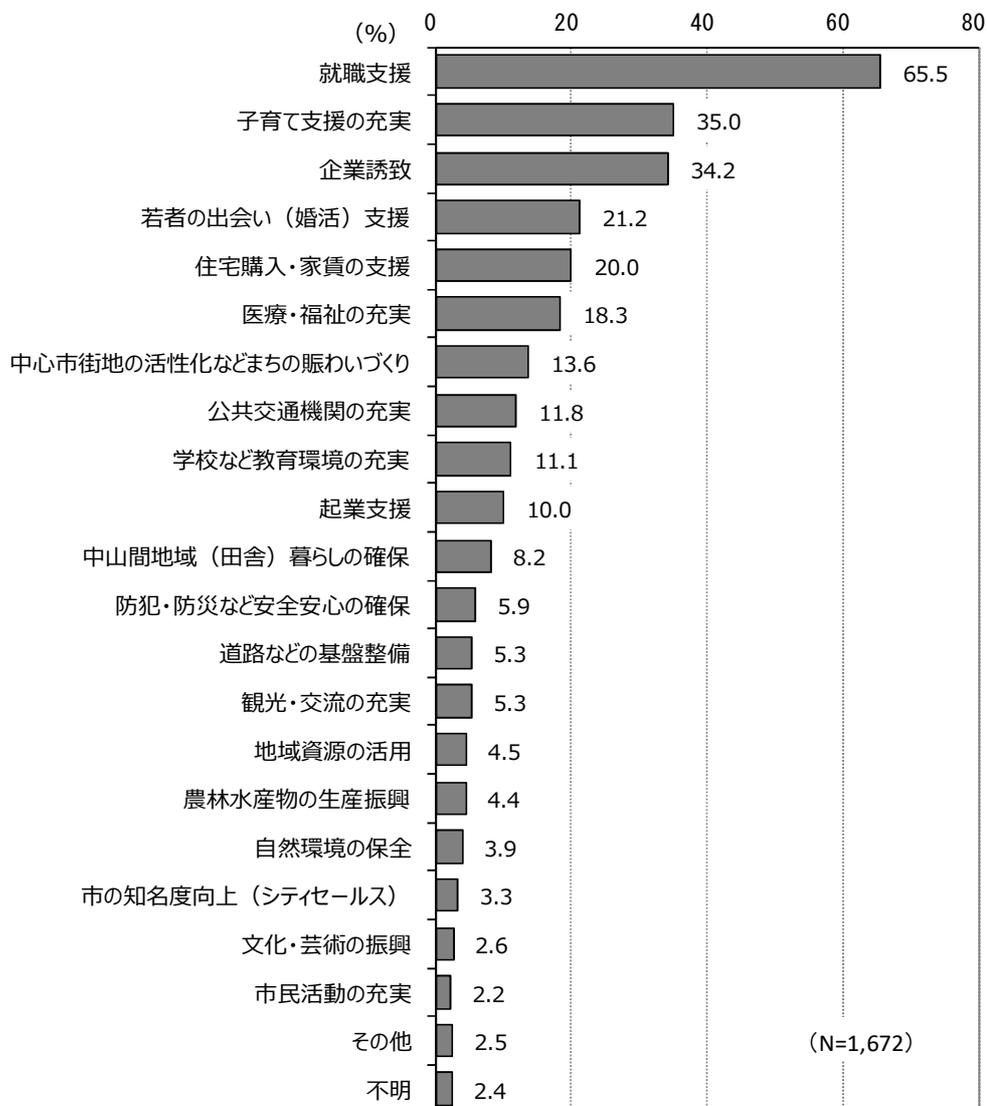
【若者定住の取り組みについての設問】

若者定住対策の取り組みについての上位 5 項目は

- ①「就職支援」 65.5% (前回 1 位：前は「就職・起業支援」70.1%)
- ②「子育て支援の充実」 35.0% (前回 3 位：36.5%)
- ③「企業誘致」 34.2% (前回 2 位：42.4%)
- ④「若者の出会い（婚活）支援」 21.2% (前回 5 位：17.6%)
- ⑤「住宅購入・家賃の支援」 20.0% (前回 4 位：19.9%)

○いずれも、働く場の確保・子育て支援・住む場所の確保・出会い支援と、生活全般にわたっての取り組みが必要と考える人が多い。

図表 若者定住対策の取組について／全体 (%)



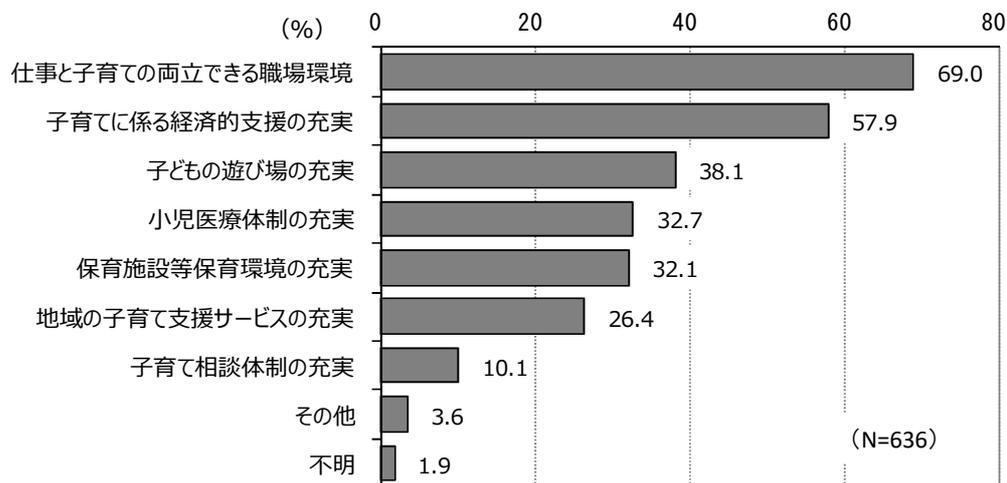
【子育てしやすい環境に必要なことについて】※新規設問

子育てしやすい環境に必要なことについての上位3項目は

- ①仕事と子育ての両立できる職場環境（69.0%）
- ②子育てに係る経済的支援の充実（57.9%）
- ③子どもの遊び場の充実（38.1%）

◇年代別では、20代が「子育てに係る経済的支援の充実」が最も多く、30代以上では「仕事と子育ての両立できる職場環境」が最も多い。

図表 子育てしやすい環境に必要なこと／全体（%）



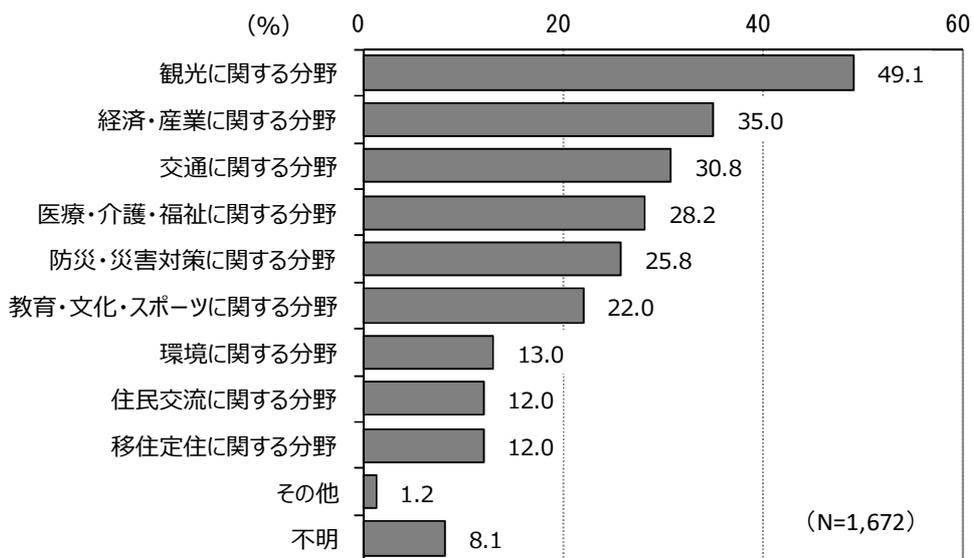
【因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏について】※新規設問

今後連携を深めていくべき分野の上位3項目は

- ①観光に関する分野（49.1%）
- ②経済・産業に関する分野（35.0%）
- ③交通に関する分野（30.8%）

◇年代別にみると、すべての年代で最も多いのは「観光に関する分野」だが、それに続いて多いのは、10代は「教育・文化・スポーツに関する分野」、20代・30代では「交通に関する分野」が多く、40代～60代は「経済・産業に関する分野」、70代以上では、「防災・災害対策に関する分野」が多い。

図表 今後、連携を深める分野／全体（%）



【参考】第10次鳥取市総合計画基本目標のうち、市民アンケート調査を数値目標としている指標の達成状況

施策名	指標	使用の説明	現状	単位		令和元年度	担当課
			基準値				
健康づくり、疾病予防の推進	「疾病予防対策・医療サービス」に対する市民満足度	市民アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした市民の割合。	57.7% (H26年度)	%	目標値	70.0	中央保健センター
					実績値	61.3	
					達成率(%)	87.6	
人権擁護の推進と人権意識の醸成	「人権が尊重されている」と思う市民の割合	市民アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした市民の割合。	36.7% (H26年度)	%	目標値	50	人権推進課
					実績値	39.5	
					達成率(%)	79	
協働のまちづくりの推進	市民活動に参加したことがある市民の割合	市民アンケート調査において、「過去1年間に地域活動に参加したことがある」と回答した市民の割合。	70.7% (H26年度)	%	目標値	75	協働推進課
					実績値	71.5	
					達成率(%)	95.3	
ふるさと・いななか回帰の促進	住んでいる地域に今後も住み続けたいと思う市民の割合	市民アンケート調査で、住んでいる地域に今後も住み続けたいと回答をした市民の割合。	82.1% (H26年度)	%	目標値	89.0	地域振興課
					実績値	84.7	
					達成率(%)	95.2	
生活基盤の充実	安全、迅速に移動できる幹線道路整備(満足度)	市民アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした市民の割合。	45.6% (H26年度)	%	目標値	50.0	道路課
					実績値	53.2	
					達成率(%)	106.4	
公共交通の確保	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度	市民アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした市民の割合。	23.1% (H26年度)	%	目標値	30	交通政策課
					実績値	22.2	
					達成率(%)	74	

※「鉄道・バスなど公共交通の便利さの満足度」以外の項目で平成26年度から市民満足度を向上させているが、目標を達成できていないものが多い。